



GUNBOH

群 萌

第208号 2022年1月31日

発行所 全国化学労働組合総連合

〒105-0021 東京都港区東新橋2-16-1

ルースビル402

TEL 03 (6452) 8806

FAX 03 (6452) 8807

発行責任者 寺前 敦司

編集者 化学総連事務局

gs03@kagaku-s.com



～楽観的に、前向きに～

全国化学労働組合総連合 会長 寺前 敦司

2022年も幕が開けて1か月が過ぎようとしています。年明け早々に太平洋側の広い地域では雪に見舞われ、都心でも積雪が10センチとなり、多くの公共交通機関に影響が出ました。大渋滞に巻き込まれたり、帰宅を諦めたりと、様々なお苦勞があったと推察いたします。冬が終わるまで今少し気の抜けない日々が続きますが、皆様が無事で過ごされることを心より願う次第です。

さて、過ぎ去った2021年は、新型コロナウイルスの感染状況に一喜一憂しつつ、東京オリンピック・パラリンピックが無観客で開催され、菅首相が退任し、衆議院議員選挙が行われるなど大きな出来事が続きました。そんな中、あまり話題にはなりませんでしたが私が大きな関心を持った一つは、11月30日に公表された国勢調査の人口等基本集計結果です。ご存知の通り国勢調査は、日本に住む全ての人及び世帯を対象とする国の最も重要な統計調査として、個人または法人等に対して報告が義務付けられています。今回公表された資料によると、我が国の人口は2020年10月1日現在で1億2614万6千人でした。あれ？っと思いませんか。実は想定されているよりも、減少は小さかったのです。

国立社会保障・人口問題研究所が2017年4月に公表した日本の将来推計人口(平成29年推計、以下推計)によると、2020年は1億2532万5千人(死亡中位・出生中位)。多く見積もっても1億2609万4千人(死亡低位・出生高位)、一番少ない場合は1億2455万6千人(死亡高位・出生低位)としたその範囲からも外れました。厚生労働省の令和2年(2020)人口動態統計(確定数)によると、この5年間の出生数は455万人で死亡数が677万人。推計は出生数を439～509万人、死亡数を636～730万人としていましたから、この2点に関しては予想の範囲内だったのです。なのにどうして、総人口が外れるのか。その最大の要因は外国人口です。前回調査では191万人だったのに対し、今

回は275万人と84万人増、推計よりも52万人上回ったのであります。我が国として重要な課題である人口減少。この流れが一過性のもので終わるのか、それとも新型コロナウイルスの影響でほぼ鎖国に近い現状を乗り越えて、継続的なものとなれるのか。次の調査は2025年10月です。

もう一つは、7月30日に公表された2020年の簡易生命表です。男性の平均寿命が81.64年(前年差+0.22年)、女性の平均寿命は87.74年(同+0.30年)と共に過去最高を更新したのです。このご時世に伸びたの？と思いませんか。しかも、肺炎で亡くなる方の少なくなったことが、男女ともに平均寿命を0.1年も押し上げたのです。2020年平均寿命の前年差が、英国*では男性で▲1.21年、女性で▲0.87年。米国**では男性で▲1.8年、女性で▲1.2年であったことと比べると驚きです。ちなみに前述の人口動態統計によると、死亡総数で見ても男性71万人(前年差▲587人)、女性67万人(同▲7751人)と11年振りの減少に転じています。帰省や出張を控えたり、マスク着用率やワクチン接種率が高かったりする効果なのかもしれませんが、凄いことです。

今年の1月16日で新型コロナウイルスとの生活も2年になりました。閉塞感のある報道ばかりが目につきますが、物事を楽観的に前向きに捉えつつ、折に触れて俯瞰して見るように気を付けていると、現実の世界は意外と違って見えてくるものです。そんな話題をお伝えすることで、皆様と一緒に考え、驚き、そして笑いを誘うことができれば幸いです。本年もどうぞよろしくお願いたします。

*1: Office for National Statistics, Single-year Life tables, UK:1980 to 2020, 23 September 2021

**2: CDC/National Center for Health Statistics, Life Expectancy in the U.S. Declined a Year and Half in 2020, 21 July 2021

化学総連活動報告

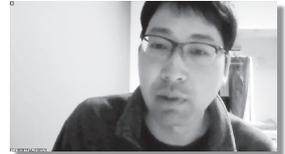
【2022年度 第1回全国地連代表者会議】

年度始めの開催により、冒頭はアイスブレイクとして顔合わせ(自己紹介)を行ったあと、寺前会長より「化学総連の活動と幸福度調査実施の背景について」と題して基調講演を行いました。その後、白石事務局長より、地方連絡会議の進め方、2021年度会計監査結果、交流会等の補助金額及び申請書類について説明し周知を行いました。

その他、地連活動の情報共有として新たな仕組みの構築などを含めて活発な議論が行われました。



基調講演を行う寺前会長



質問する京都地連代表の三枝氏

日 時	2021年11月5日(金)
開催方式	Web(Zoom)
参加人数	29名



集合写真①



集合写真②

【第99回調査担当者会議】

日 時	2021年11月9日(火)～10日(水)
施設見学	上勝町ゼロ・ウェイストセンター
場 所	JRホテルクレメント徳島
参加人数	21名(Web併用)



講演を行う小林代表



開会挨拶をする竹内幹事



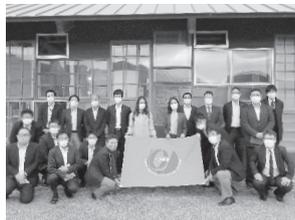
参加者の様子



45分別場所



Web参加者の様子



ゼロ・ウェイストセンター集合写真

施設見学は、2003年に自治体として日本発の「ゼロ・ウェイスト宣言」を行った徳島県上勝町のゼロ・ウェイストセンターを訪問しました。ごみ自体を出さない社会を目指し、瓶や缶などは資源として位置づけ、住民がごみステーションに持ち寄って45分別を実施し現在、リサイクル率80%を超えています。小林代表より「上勝町が目指すもの」と題して講演をいただいた後、45分別の実施場所を見学しました。分別場所では廃棄した場合にかかるコストが個々に表示してあり、環境意識の高揚につながっていました。



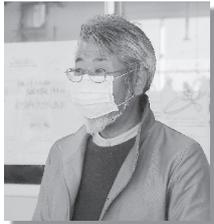
会場全体の様子



分科会の様子

会議では、竹内幹事より挨拶をいただいた後、秋季労使交渉に関する情報交換、離職の原因とその対策について分科会及び発表会を実施し、活発な議論が行われました。

【第5回対馬海岸清掃ボランティア】



対馬 CAPPA 末永理事



集合写真 沢山のごみを拾いました



清掃活動



海岸漂着ごみの様子



ペットボトルの仕分けについて説明する
対馬 CAPPA 上野代表（中央）



ペットボトルの仕分け作業

2019年6月に初訪問してから5回目となる対馬海岸清掃ボランティアを実施しました。今回も一般社団法人対馬CAPPAの協力を得て状況確認と清掃活動を行いました。清掃前に末永理事より、海洋プラスチックの現状について説明をいただいた後、清掃活動を実施しました。今回の海岸清掃では、発泡スチロールとペットボトルを中心に回収を行いました。発泡スチロールは回収後、減容・ペレット化し島内でサーマルリサイクルとして活用されています。ペットボトルは、流出源を調査するために、回収後はバーコード・文字を頼りに国別に仕分けを行いました。結果、中国>韓国>日本の順番でしたが、その他にベトナム・台湾などがあり、改めて海洋プラスチック問題の深刻さを痛感しました。

日時 2021年11月14日(日)～15日(月) **場所** 対馬市浅茅湾、巖原町上槻海岸 **参加人数** 20名

【2022年度 第1回書記長・事務局長会議】

松村幹事より挨拶をいただいた後、j.union株式会社服部社長より「組合活動の新潮流～これからのユニオン活動を創造しよう～」と題して講演をいただきました。講演では「賃上げの時代から、職場の元気と組合員の笑顔を作る時代に変化しており、職場の仲間を誰一人取り残さない環境作りが重要である。」と述べられておりました。講演中は、グループディスカッションも並行して行われ、活発な議論が行われました。

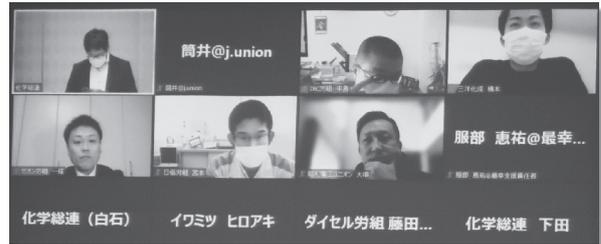
施設見学は、佐賀県立名護屋城博物館を訪問しました。名護屋城は豊臣秀吉の朝鮮出兵に際して築かれた城です。現在天守閣はありませんが、跡地からは玄海灘の中に長崎県の老岐・対馬を確認することが出来ます。当日は、国境の海を一望し、その歴史に想いを馳せつつ、先人が守り続けた対馬の重要性について学びました。



開会挨拶をする松村幹事



講演を行うj.union株式会社服部社長



Web参加者の様子



グループワークの様子



名護屋城天守閣跡地



名護屋城での集合写真

日時 2021年11月16日(火) **場所** 西鉄グランドホテル
施設見学 佐賀県立名護屋城博物館 **参加人数** 21名(Web併用)

化学総連活動報告

【第46回支部役員研修会】

日 時 2021年11月19日(金)
開催方式 Web(Zoom)
参加人数 102名

峯岸会長代理より開会挨拶をいただいた後、寺前会長より「化学総連の取り組みと今後の課題」と題して基調講演を行い、参加者の皆さんに化学総連に対する理解を深めていただきました。

研修会では、オンライン会議が増加している中、オンライン会議の進め方を把握し、効率化を図る目的でファシリテーション研修を行いました。前半は「ファシリテーションの心構え」と題してj.union株式会社の野村氏より講演を行った後、後半は実践を交えながら、現在の課題や今後の組合活動について討議を行い、今後の組合活動を円滑に進めるための一助としました。



開会挨拶する峯岸会長代理



講演を行う寺前会長



講師の野村氏 (j.union 株式会社)



分科会の様子



参加者集合写真

【労使勉強会】

日 時 2021年11月26日(金)
場 所 品川プリンスホテル
参加人数 154名(Web併用)

各社の人事・労制部門と加盟単組役員が一堂に会して労使で課題を共有し、今後の取り組みを円滑に行うために労使勉強会を実施しました。

新しい働き方研究会瓜生委員長より開会挨拶をいただいた後、寺前会長より「化学総連の活動と幸福度調査について」と題して講演を行いました。その後、株式会社はびテックの太田社長より「幸せな働き方と幸福度診断の紹介」と題してご講演をいただきました。幸福度の診断に至った背景や今後のスケジュールについては最終ページに記載しているので割愛しますが、幸せだとパフォーマンスが上がり、健康になり、周囲を幸せにすることから、幸福経営が注目を集めておりいくつかの企業で導入され始めています。幸福度は10分程度で診断ができます。まずは自分自身の幸せを測り、結果を見える化し幸福について理解を深め、更に幸福度を高めていきましょう。



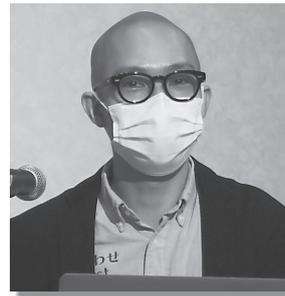
会場全体の様子



開会挨拶する瓜生委員長



講演を行う寺前会長



講演を行うはびテック太田社長



質問するカネカ労組村田氏



閉会挨拶する峯岸会長代理



質問する積水化学労組の小瀬村氏(Web)



Web参加者の様子

化学総連活動報告

【第45回幹部研修会】

日 時 2022年1月13日(木)～14日(金)

場 所 リーガロイヤルホテル小倉

参加人数 166名(Web併用)

今回の研修会は、2つの特別講演と会長講演を実施しました。

1つ目の特別講演では、独立行政法人労働政策研究・研修機構研究所長の濱口桂一郎氏より「今後の労働のあり方」と題して講演を

いただきました。講演内容は、テレワークの急拡大やフリーランス問題、諸外国の動向など多岐にわたるため、ここではテレワークについてのみご紹介します。

労働社会の大きな転換点として「働き方改革実行計画」と経済のデジタル化が進み、時間と空間の制約を超え「いつでもどこでも」生産活動ができる情報通信環境が生まれ、テレワークが急速に拡大しました。しかし、テレワークによる労働時間管理のあり方、作業環境や健康状態の管理・把握、労務管理など課題が残ったままです。特に労働時間管理については、常時ウェブカメラでテレワークを求められる、離席する場合はチャットなどで報告しなければならないなど、労働者として息が詰まり、不満が高まります。

このように厳格な労働時間の管理・把握は現実的ではない場合があります、テレワークのメリットを失うこととなります。今後は少なくとも始業時間と終業時間を適正に把握すれば就業したと認めるなど、労使双方にとって負担感がなく、簡便な方法で労働時間を管理することが重要であると述べられておりました。

加盟単組でもテレワークの導入が進みましたが改めてルールや運用面を再確認し、テレワークの定着に向けて柔軟に見直ししてみたいはいかがでしょうか。



総司会会の森事務局次長



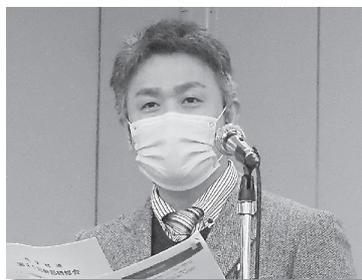
開会挨拶する瓜生副会長



講演する労働政策研究・研修機構
研究所長の濱口先生



質問する下田政策担当



質問する昭和電工ユニオンの小林氏



質問するDIC労働組合の中島氏(Web)

2つ目の特別講演では、産業医科大学 産業生態科学研究所 産業保健経営学研究室 准教授 永田智久氏より「働き方改革と健康経営」と題して講演いただきました。講演内容は働き方改革と健康経営でしたが、ここでは健康経営についてご紹介します。

健康経営とは経営者がリーダーシップをとり、従業員などの健康管理を経営的な視点で考え、戦略的に実行することと言われており、従業員への健康投資を行うことは従業員の活力向上や生産性の向上など、組織の活性化をもたらし結果的に中長期的な業績向上につながると期待されています。

背景としては、社会や経済構造、そして働く環境が変化してきたことが、働く人の「心と身体」に大きな影響を及ぼすようになってきました。また、労働人口が低下する中、将来に向けた労働力の確保や従業員の定着、活躍の重要性が求められています。拡大する社会保障費も財政を圧迫する大きな要因でもあり、多くの企業では従業員の健康増進を重要な経営課題と位置づけ、積極的に対応を進める動きが広がっています。また、「将来、どのような企業に就職したいか」について労働市場調査結果では「従業員の健康と働き方に配慮している」が1位（約50%）で、労働市場でも重要な位置づけにあることを確認しました。

今後、多くの企業で健康経営が導入されると思いますが、健康経営は「経営者が従業員の健康を本気で考えて健康経営を導入することが重要で、その結果として健康が促進されて、生産性向上や組織の活性化が副次的にもたらされるのであって、生産性向上や組織の活性化が主目的になってはならない。」という強いメッセージをいただきました。

会長講演では、化学総連の寺前会長より「化学総連の取り組みと今後の課題について」と題して、2022年春季労使交渉に向けた化学総連としての取り組みの考え方や、世界・日本の各諸情勢、企業業績についてご説明いただき情報の共有化を図りました。



会場全体の様子



Web参加者の様子



講演する産業医科大の永田先生



質問する積水化学労組の岡林氏 (Web)



質問する宇部興産労組の安福氏



講演する寺前会長



閉会挨拶する峯岸会長代理

化学総連では、幸福度診断 Well-Being Circle を実施します

幸福度診断の実施に至った背景

☆コロナ禍で少なからず不安な気持ちに侵された今、幸せな気持ちで働くことの価値について、調査を通じて伝えることが必要と考えました。

幸福度診断で実現したいこと

☆個々人の幸福度を見る化し、幸せについての理解を深め、よりWell-Being(幸せ)な日々を送るために何ができるかを考えるきっかけを提供することで、化学総連として幸せな気持ちで働くことの価値を一人ひとりに対してお伝えしたいと思います。

☆Well-Beingに対する感受性が高まることで、より個々人の幸せに直結するアイデアが組合員から集まるようになり、職場環境づくりに活かされることを期待しています。

☆診断結果の集団解析により、化学総連全体の傾向や各設問の相関、各単組の特徴を把握し、化学総連全体でWell-Beingな集団の形成につなげていきます。

幸福度診断 Well-Being Circleについて

☆多種多様な幸せとして地位財、非地位財そして非地位材を構成する大切な要素である、幸せな心=4つの因子(やってみよう、ありのままに、自分らしさと、ありがとう)を見る化した診断結果が、Well-Being Circleとして表されます。

多種多様な幸せ

長続きしない幸せ
地位財

お金 物 社会的地位

長続きする幸せ
非地位財(Well-Being)

心身の健康 幸せな心 社会や職場の環境

やってみよう (自己実現と成長) 自主性 目標 ワカワカ

ありのままに (独立と自分らしさ) 自分らしさと 比べすぎない 本来感

感謝 利他 思いやり つながりの 親切 ありがとう (つなぐ力と感謝)

幸せな心 前向き 楽観 ポジティブ 挑戦

なんとなかなる (前向きと楽観)

➔ 見える化

幸福度診断 Well-Being Circle

◎幸せの効能

☆幸福とパフォーマンスの関係

幸福度の高い人は、

- ⇒生産性=31%向上※
- ⇒売上=37%向上※
- ⇒創造性=3倍※
- ⇒欠勤率、離職率が低い。

※上述の数値は、225件の学術研究より分析した平均値。

☆他にも幸せな人は・・・

幸福度の高い人は、

- ⇒健康だけでなく約7年長寿
- ⇒よい出来事を思い出しやすい
- ⇒周りを幸せにする

自分の診断結果を見る

① 結果チャート

② 結果の表

項目	スコア	スコア	スコア	スコア	スコア	スコア	スコア	スコア	スコア
幸福度	92.8	82.5	86.9	86.5	100.0	84.8	100.0	73.4	100.0
幸福度	63.0	56.1	65.3	64.4	62.7	58.3	64.5	63.6	53.4

③ 幸せのかたち

④ 幸せTOP5、余地TOP5

幸福度診断の調査概要

- 調査形式: WEBアンケート形式(株式会社はぴテック)
- 設問数: 85問(調査設問72問、属性設問12問、自由記述1問) + 単組により追加設問あり
- 回答時間: 約10分
- 調査期間: 2022年2月~2022年5月 ※調査期間の詳細は、単組別実施連絡があります
- 調査対象: 調査期間中に在籍する組合員

☆皆さまの、幸福度診断へのご協力、よろしくお願いたします。